

記者配布資料

平成24年3月2日

部 課 名	課長名	班長名	担当者職・氏名	連絡先・県庁内線
健康福祉部 健康増進課	三輪 茂之	母子保健・感染症班 弘田 隆彦	主任技師 長井 詩乃	083-933-2956 内線2956
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩、首都圏			

障害者支援施設における感染性胃腸炎の発生について

周南健康福祉センター管内の障害者支援施設において、下記のとおり感染性胃腸炎の集団発生がありましたので、お知らせします。

記

1 概要

- (1) 発症月日 2月23日(木)
- (2) 有症者数 3月2日現在 19名 (入所者18名、通所者1名)
(これまで22名が発症し、うち3名は既に回復)
- (3) 症 状 嘔吐、下痢、発熱(重症者なし)

2 対応

周南健康福祉センターが当該施設に対し、消毒方法等の衛生指導を実施

3 その他

感染性胃腸炎は、例年、冬季(11月から3月)に流行しますので注意が必要です。

【感染性胃腸炎の予防対策】

- ①石けんでよく手を洗いましょう。
- ②感染した人の便やおう吐物には、直接触れないようにしましょう。
使い捨ての手袋やティッシュペーパー(キッチンペーパー)などを使って処分しましょう。
嘔吐物のあった床などは、次亜塩素酸ナトリウム(塩素濃度0.02%:市販の塩素系漂白剤は250倍に希釈)で浸すように拭き、10分後に水拭きしてください。
- ③食品の取扱に注意しましょう。
食品は、中心部までよく加熱(85℃、1分間以上)しましょう。
- ④調理器具はよく洗って、殺菌しましょう。
熱湯(85℃、1分間以上)や塩素濃度0.02%の次亜塩素酸ナトリウム(市販の塩素系漂白剤を薄めたものなど)で殺菌しましょう。

(参考)

感染性胃腸炎とは

- (1) 病原体: ウイルス(ノロウイルス、ロタウイルス、腸管アデノウイルス等)
細菌(カンピロバクター、病原性大腸菌、サルモネラなど)
- (2) 感染経路: 食品や水を介しての経口感染や吐物、便を介しての接触感染(二次感染)
- (3) 臨床症状: 発熱、下痢、嘔吐、腹痛など
- (4) 山口県の発生状況 [山口県感染症情報センターホームページ](http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/graph/index2012.php?y=2012&w=8)

<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/graph/index2012.php?y=2012&w=8>